

たかがスズメバチ・されどスズメバチ

～縁起物にパワーをもらおう！～

10月7日木曜日、午後1時からスズメバチの巣の駆除をしました。前日の夕方に近所のご夫婦が私の所に助けを求めて来ました。なぜなら、つい先日90代の奥様がハチに刺され竹越医院のお世話になったということです。現場は通学路のすぐ脇(垣根を挟んで1メートル)であり、ご夫婦と子ども達の安全を守るためにも一刻も早く駆除しなければなりません。



【500ミリのペットボトルとの比較】

スズメバチは、蜂の種類の中では最も凶暴で最も生命力が強いと言われています。刺されたショックで亡くなってしまう人もいるほど恐ろしく、さらに他の蜂とは比べ物にならない巨大な巣を作ります。

でも、その生命力は幸運のパワーに変えることが出来ると言われています。古い家などで玄関先に大きなスズメバチの巣を飾っているのを見たことはありませんか？スズメバチの巣を玄関先に飾ることで様々な良い効果をもたらすと言われています。私もスズメバチの生命力、パワーを借りて運気を上げたいと思う訳です。

そんな前向きな話とは裏腹に、蜂の巣駆除に対して役場の職員は、四の五の言って話が前に進みません。第一に蜂の巣駆除業者なんて直ぐには来てくれません。一刻も争う事態ですから、私が自ら不動産時代の経験則で職員に駆除指導をしました。

巣は、垣根近くの灌木(2メートル位の低木)にあると聞きました。ある程度高いところにあるのかなと思い上ばかり気にしていると、意外にも自分の目の前の枝にありました。地上1メートルの所に縦40センチ、直径25センチのスイカ並みの大きな巣が吊り下がっていました。

スズメバチはとても縄張り意識が強く常に巣の周りに見張りを立て、巣に近づいてくるものを威嚇します。それでも巣に近づいてきたら、巣の中から大量のスズメバチが一斉に攻撃を仕掛けてきます。私の目の前で1匹の大きなスズメバチがホバリングをして隙を伺っていました。スズメバチは

他の蜂と違って毒針を何度も使用できるため、大量のスズメバチに囲まれた生き物は幾度と無く刺されて死んでしまうのです。凶暴で警戒心の強いスズメバチは大きなウロコのような模様の巣を作り、その中で1匹の女王蜂が絶え間なく子を産み続けます。この脅威の生命力、パワーには生半可では太刀打ちできません。しかし、やり方と完全防備でしっかりと駆除出来ます。



実質的には私が全ての駆除作業をして職員は手伝いでしたが、一人では危険な仕事です。今回はわずか5分くらいの作業でしたが、文字どおり今後のための教育的な駆除指導ができました。

【だから明和町です】

明和町は町長がそこまでやります。それにより職員がついてくるのです。上がやれば下はやらざるを得ません。たかがスズメバチの巣です。でも、命がけの仕事。仕事に命をかけられるか？自分だけが大事の職員にそういう覚悟はあるのか？一事が万事です。覚悟を持って仕事する事が大事です。

しかし、いつかは私も引退します。それまでに職員に公務員とは何かを教え込まねば成りません。

【率先垂範であれ！】

職員には税金でご飯を食べることに使命感を持ってもらいたいのです。採用の時は、「全体の奉仕者として働きます」と誓います。ところが採用後は楽な事を覚えた上司に教育され、自分の立場の守り方を教わり、自分のためにだけ働くようになってしまう職員が多数います。

【私心を捨てて生きる】

公務員とは何か？人の税金でご飯を食べることが、どんなに大変な事なのか？住民の皆様の期待に答えるとはどういう事か？

私は、町長に立候補する時、この町の父になり、今後の行動はすべて明和町の町民の幸せのために昼夜を問わず働くことと誓いました。そして物事の判断は、町のためになるか？町民に喜んでいただけるか？その為には、私心を捨てて町のために、町民の為に生き抜く決意をしました。決して我田引水ではない。私心を捨てて町民の為に働いているか？と、常に自分自身に問いかけながら町長職に没頭しています。（*注釈）職員の皆様にも自分自身に問いかけてもらいたいと思います。

【公務員の使命】

職員の皆様には、町民の方に少しでも喜んでもらえる存在になりたいと言う強い気持ちを持って公務員生活を送っていただきたいです。法律を遵守する事ばかりが公務員の仕事ではありません。それは公務員でなくとも守らなくてはならないあたりまえの事なのです。税金をいただいている立場の人間として、全体の模範となる指導的立場にあり、全体の奉仕者であり、住民の方に喜んでもらえる仕事をするという矜持を持ち、公務員である立場を再認識して仕事に励んでいただきたいと思います。

【非常時駆け付け隊結成】



今回の町長の行動は職員に伝わりました。環境担当係が蜂駆除用スーツを2組買い、町民の皆様の緊急の場合には直ぐに駆けつける準備をしておりました。やはり町長に動かされて職員が何もしないわけにはいかないと言う事です。

これからハチの巣の駆除は職員が非常時駆け付け隊として向かいます。但し、職員が対応できる余り高い位置ではないところに限ります。



【縁起物として町長室に飾られたスズメバチの巣】

令和3年11月19日

明和町長 富塚もとすけ

(*注釈) 悲しいことにSNSやツイッターで事実と異なる事、家族についても心ない誹謗中傷を受けることがあり、対処について高崎のSNS専門の弁護士に相談しております。私の報酬は全てが交際費であり、家族もそれでいいと言ってくれています。町長の立場を利用して金稼ぎなどするはずがありません。弁護士は、一連の誹謗中傷について限界を越えているので今後については訴訟する事を勧められています。

最近プロバイダーを訴訟することにより簡単に発信者が分かるようになったと言います。また、重罰が課されるようになりました。今後の町のためにも限界を越えた誹謗中傷は、断固として私費で対応していく所存です。